

※※2014年4月改訂(第6版)  
※2005年7月改訂(第5版)

日本標準商品分類番号 8 7 5 2 0 0

漢方製剤  
**SKM19**  
商品番号

承認番号:(62AM)第0492号

薬価収載:1988年3月

販売開始:1988年4月

※※再評価結果:1996年3月  
2014年4月

しょうせいりゅうとう

## サカモト小青竜湯エキス顆粒-S

貯法:取扱上の注意の項参照

### 【禁忌】(次の患者には投与しないこと)

- 1) アルドステロン症の患者
  - 2) ミオパチーのある患者
  - 3) 低カリウム血症のある患者
- [1)~3): これらの疾患及び症状が悪化するおそれがある。]

### 【使用上の注意】

#### 【慎重投与】(次の患者には慎重に投与すること)

- 1) 病後の衰弱期、著しく体力の衰えている患者  
[副作用があらわれやすくなり、その症状が増強されるおそれがある。]
  - 2) 著しく胃腸の虚弱な患者[食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等があらわれることがある。]
  - 3) 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者[これらの症状が悪化するおそれがある。]
  - 4) 発汗傾向の著しい患者[発汗過多、全身脱力感等があらわれることがある。]
  - 5) 狭心症、心筋梗塞等の循環器系の障害のある患者、又はその既往歴のある患者
  - 6) 重症高血圧症の患者
  - 7) 高度の腎障害のある患者
  - 8) 排尿障害のある患者
  - 9) 甲状腺機能亢進症の患者
- [5)~9): これらの疾患及び症状が悪化するおそれがある。]

### ※※【組成・性状】

組 成	本品 9.0g 中、下記の混合生薬より抽出した水製乾燥エキス 4.22g を含有する。 日局マオウ……… 3.0g 日局サイシン……… 3.0g 日局シャクヤク… 3.0g 日局ゴミシ……… 3.0g 日局カンゾウ……… 3.0g 日局ハンゲ……… 6.0g 日局ケイヒ……… 3.0g 日局カンキョウ… 3.0g	
	添加物	日局乳糖、日局結晶セルロース、日局ステアリン酸Mg
性 状	剤 形	顆粒剤
	色	淡灰褐色～灰褐色
	におい	特異なにおい
	味	甘苦く、わずかに刺激がある
識別コード	SKM19	

### ※※【効能・効果】

下記疾患における水様の痰、水様鼻汁、鼻閉、くしゃみ、喘鳴、咳嗽、流涙：  
気管支炎、気管支喘息、鼻炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、感冒

### 【用法・用量】

通常、成人1日9.0gを2~3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。

なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

### 【重要な基本的注意】

- 1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 2) 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- 3) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

## 【相互作用】

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
1)マオウ含有製剤 2)エフェドリン類含有製剤 3)モノアミン酸化酵素(MAO)阻害剤 4)甲状腺製剤 チロキシ リオチロニン 5)カテコールアミン製剤 エピネフリン イソプレナリン 6)キサンチン系製剤 テオフィリン ジプロフィリン	不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等があらわれやすくなるので、減量するなど慎重に投与すること。	交感神経刺激作用が増強されることが考えられる。

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
1)カンゾウ含有製剤 2)グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤 3)ループ系利尿剤 フロセミド エタクリン酸 4)チアジド系利尿剤 トリクロルメチアジド	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれやすくなる。（「重大な副作用」の項参照）	グリチルリチン酸及び利尿剤は尿管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

## 【副作用】

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

### (1) 重大な副作用

- ※① 間質性肺炎：発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常（捻髪音）等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。また、発熱、咳嗽、呼吸困難等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、ただちに連絡するよう患者に対し注意を行うこと。
- ② 偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- ③ ミオパチー：低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- ④ 肝機能障害、黄疸：AST(GOT)、ALT(GPT)、Al-P、 $\gamma$ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

## (2) その他の副作用

	頻度不明
過敏症 <sup>注1)</sup>	発疹、発赤、痒痒等
自律神経系	不眠、発汗過多、頻脈、動悸、全身脱力感、精神興奮等
消化器	食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等
泌尿器	排尿障害等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

### 【高齢者への投与】

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

### 【妊婦、産婦、授乳婦等への投与】

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合のみ投与すること。

### 【小児等への投与】

小児等に対する安全性は確立していない。

「使用経験が少ない」

### 【臨床成績】

本剤は通年性鼻アレルギーに対する二重盲検比較臨床試験において、くしゃみ発作、鼻汁、鼻閉等の症状を改善し、最終全般改善率は以下の成績であった。

	改善率 (%)	
	【中等度改善以上】	【軽度改善以上】
小青竜湯群	44.6 (41/92)	83.7 (77/92)
プラセボ群	18.1 (17/94)	43.6 (41/94)

### 【取扱上の注意】

<貯法>

- 1) 直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- 2) 誤用をさけ、品質を保持するために他の容器に入れかえないで下さい。
- 3) 開封後は特に湿気をさけ、フタをよく閉める等、取り扱いに注意して下さい。

### 【包装】

500g, 3.0g×294包, 3.0g×84包

### 【主要文献】

原典：傷寒論，金匱要略  
解説書：大塚敬節，矢数道明，清水藤太郎  
共著：漢方診療の実際，南山堂

### 【文献請求先】

株式会社 阪本漢法製薬研究開発部  
〒661-0021 尼崎市名神町1丁目5番12号

製造販売元

株式会社 阪本漢法製薬  
〒530-0057 大阪市北区曾根崎2丁目7番4号